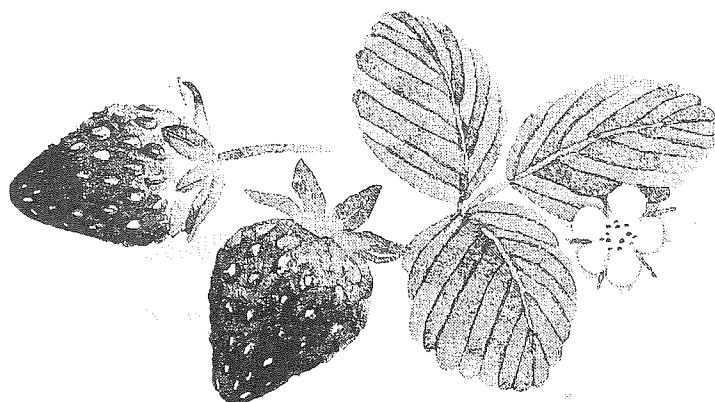


社団法人 山梨県栄養士会 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目10-5 ☎0552-22-8593 平成10年 5 月

行 事 予 定

5 月22日(金)	第14回(平成10年度)通常総会
6 月 7 日(日)	歯の無料相談(於岡島ローヤル会館)
6 月11日(木)	栄養なんでも相談検討委員会
6 月18日(水)	栄養学術講座
9 月 9 日(水)	健康づくり提唱のつどい

総会特集号



案 内	2	平成10年度 日本栄養士連盟山梨県支部総会 ...	16
告示 第14回(平成10年度)通常総会開催通知 ...	4	平成 9 年度収入支出計算書	17
平成 9 年度 事業報告	5	平成10年度 活動計画(案)	18
平成 9 年度収入支出計算書	9	役員改選の件	19
財 産 目 録	11	平成10年度収入支出予算書(案)	20
平成10年度 事業計画(案)	12	事務所移転にともなう提出金名簿(平成 9 年度)	21
平成10年度収入支出予算書(案)	13	賛助会員	23
会長・副会長監事名簿	15	広 告	24
常任理事承認の件	15	事務局から	26

案内

総会記念講演会

日 時 平成10年5月22日(金) 13:30~15:15
場 所 山梨県総合女性センター
演 題 「職場の人間関係」
講師 甲府市医師会理事
篠 原 隆先生(篠原医院神経科)
～ストレスを分散させ、心の健康づくりを身につけるために～
◎あなたの職場のこわい人・嫌いな人・苦手な人・
好きになれない人達との上手な付き合い方を発
見できるかも知れません。社会経験の少ない人、
職場に閉じ籠りがちな人、栄養士が一人しかい
ない職場の人には、大いに参考になると思いま
す。何はにおいても進んで聴講してください。

第7回(平成10年度)栄養学術講座

日 時 6月18日(木) 9:30~15:30
(受付 9:30)
場 所 山梨総合女性センター
内 容
食 品 学 (10:00~12:00)
～食品科学～色・味・香り・食品群別特徴～
講師 山梨学院短期大学助教授
仲 尾 玲 子先生
調理科学 (13:30~15:30)
～界面活性・浸透圧・熱移動・焼物・揚物・煮物の科学～
講 師 昭和女子大学元教授
杉 田 浩 一先生

資料代 500円

・受講希望者は6月15日(月)までに事務局
へ申し込むこと。

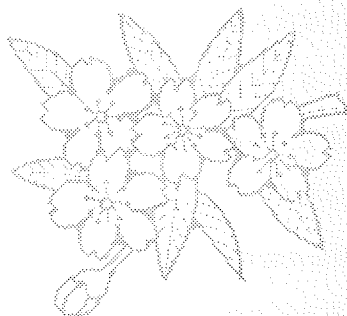
健康づくり提唱のつどい

主催: (社)山梨県栄養士会
協賛: ヤクルトグループ
日 時 9月9日(水) 13:00~16:00
場 所 甲府総合市民会館芸術ホール
特別講演
笑い与健康～あなたの笑顔がなによりの薬～
講師 日本笑い学会理事
岡山市三宅医院副院長
昇 幹 夫先生
著書 「笑い与健康・笑は百薬に勝つ・
笑いとは心と脳の処方箋」等

その他展示等

山梨県児童福祉部会発行図書

～子供からお年寄りのためのハートいっぱい献立～
内 容 美しい写真でかざる行事食・なつかしく
新しい食事・おやつアラカルト
64頁 A4版 定価2,000円
取扱い者 福祉部会 児童部 沢 村 和 子
(TEL 0556-62-2763 大島保育園)



賛助会員商品展示会

日 時 5月22日(金) 10:00~16:00
場 所 山梨県総合女性センター展示室(ギャラリー)

展示商社一覧

ホリカフーズ株式会社オクノス事業部
展示商品 流動食品(A・C・NT-3)・キザミ食・
ミキサー食・軟菜食品・低たん白食(P
LCごはん、カレーシチュー等)
担 当 者 オクノス事業部 谷 口 功 一

スリーライン株式会社
展示商品 メラミン食器
担 当 者 第一営業課 滝 沢 正 幸

東洋羽毛販売株式会社
展示商品 羽毛ふとん
担 当 者 西東京営業所 佐 藤 博 志

信濃化学工業株式会社
展示商品 メラミン食器
担 当 者 第一営業部 中 村 敏

株式会社マルハチ村松
展示商品 鯉の素(富士印)・特撰かつおだし・め
んつゆ・甘夏みかん・その他
担 当 者 第一営業課 千 野 真 至

第一出版株式会社
展示商品 書籍約100点の販売
担 当 者 営業課 岡 本 光 児

株式会社三和化学研究所 甲信支店
展示商品 液状濃縮流動食・乳清たんぱく食品・ミ
キサー加工食品・嚥下補助食品・低蛋白
パン
担 当 者 食品部 加 藤 文 雄

オギノ食糧株式会社

展示商品 理研ビタミン(株)商品
担 当 者 食糧部 林 部 正 男

日清医療食品株式会社中部支店
展示商品 濃縮流動食(L1. L2. L3. L4. L5. L6
PM)・冷凍食品
担 当 者 営業部 平 井 悟 史

シキシマ醤油株式会社
展示商品 キッセイ薬品
日清サイエンス
トヨタマ健康食品
担 当 者 販売課 小 林 秀 男

株式会社カイゲン 横浜営業所
展示商品 ソルギン・コレカット商品(ドリンク、
ポタージュ、みそ汁等)・ダルムスパー
スリッチ(注腸検査食)
担 当 者 横浜営業所 鳩 山 栄 志

株式会社はくばく
展示商品 骨太家族・麦関係(1kg袋物、スタンド
パック)・乾麺類
担 当 者 営業部 小 松 利 江

株式会社マインド
展示商品 カルライス・ワンクイックライス・粥の
もと
担 当 者 営業部 松 井 忠

(受付順)



平成10年 5月 1日

第14回（平成10年度）通常総会開催通知

社団法人 山梨県栄養士会 正会員 各位

社団法人 山梨県栄養士会 会長 藤 巻 一 雄

平成10年度本会第14回通常総会を定款第21条の規定に基づき下記により開催いたしますので、注意事項
ご留意のうえご出席くださいますようお願いいたします。

記

日 時 平成10年 5月22日(金) 9:00~12:30
場 所 山梨県総合女性センター 2階 研修室〔甲府市朝氣1-2-2 ☎ 0552-35-4171〕
出 席 者 社団法人 山梨県栄養士会 正会員
議 題
第1号議案 平成9年度 事業報告及び収入支出決算書並びに財産目録承認の件
第2号議案 平成10年度 事業計画（案）及び収入支出予算（案）承認の件
第3号議案 役員改選の件
第4号議案 常任理事承認の件

《注意事項》

- ① 総会出席正会員は、9:30までに受付を済ませ、総会会場に入場してください。
- ② 本会総会に引き続き、日本栄養士連盟山梨県支部の総会を開催します。
- ③ 総会に出席できない正会員は、総会当日までに同封の委任状を必ず提出してください。（委任状の提出は法律で定められた正会員の義務ですから忘れないよう義務の履行をお願いします）
- ④ 総会に出席の正会員は、「栄養やまなし」No57号（総会特集号）を持参してください。会場での配布いたしませんので忘れないようお願いします。
- ⑤ 総会資料をご覧のうえ、質問、意見、要望等のある正会員は、受付に備えてある「質問・意見・要望発言申告書」用紙に記入して、提出してください。
- ⑥ 今年は、本会通常総会に続く日本栄養士連盟山梨県支部総会終了後、昼食休憩をとり、13:30から記念講演がありますので、総会が終了しても帰らないで聴講してください。
- ⑦ 賛助会員による栄養関連物資の展示会が階下の展示場で行われますので、仕事のうえの参考にご覧になってください。
- ⑧ 不明の点は、事務局または当日担当役員にお尋ね下さい。

第1号議案

平成9年度 事業報告

本年度より地域住民に対する一般的な栄養相談、指導は原則として市町村に委譲されたが、残念ながら本県においては市町村への管理栄養士、栄養士の配置が少ない。これは財政規模の小さい町村数が多いことも原因の一つとして考えられるが、配置状況が全国平均の42.3%（平成9年7月1日現在）に比較して極めて低く日本栄養士連盟山梨県支部と協力して10~11月に掛けて未配置市町村長に対する陳情活動を展開した。

また、厚生省健康政策局長名で、5月7日付をもって「人材確保支援計画について」知事宛に通知されたのを受け、これに対応すべく他都道府県と歩調を合わせて、同じく日本栄養士連盟山梨県支部の協力を得て、人材確保支援計画の対象となる町村及び関係一部事務組合に対し「保健活動支援チームによる巡回支援事業の促進方要望書」を知事宛に提出した。

更に、県の栄養主管課（山梨県福祉保健部健康増進課）への「管理栄養士複数配置の要望書」、児童福祉主管課（山梨県福祉保健部児童家庭課）への「栄養士の配置に関する要望書」を知事宛に、「介護支援専門員養成研修会に栄養士または管理栄養士の参加についての要望書」を県福祉保健部長宛に提出した。

永年の課題となっていた事務所移転が実現し、3月末から4月始めに掛けて書類、事務調度品などの整理、調達搬入を行い4月10日に甲府市丸の内2丁目38-8から同じ丸の内1丁目10-5に移転を完了した。財政的にゆとりのない本会は、多くの会員から浄財を募り実現できた。

栄養士を取り巻く社会環境は規制緩和、行政改革、財政改革、教育改革等の激しい流れのなかで、一層厳しい状況になってきている。

1. 会務の執行状況

(1) 第13回（平成9年度）通常総会の開催

平成9年 5月30日(金) 13:00~16:00 山梨県総合婦人会館 大研修室
議 案

- 第1号議案 平成8年度事業報告及び収入支出決算書並びに財産目録承認の件
第2号議案 平成9年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）承認の件
第3号議案 定款の一部変更承認の件
第4号議案 会員除名承認の件
以上の議案は賛成多数で全て承認される。

(2) 理事会の開催

① 第1回理事会 7月5日(土) 14:00~17:00 リバース和戸会議室
議 事

- (a)いきいき山梨ねりんピック97'への協力について (b)強化精麦普及啓発事業について
(c)インスタントラーメン「健康と栄養」セミナーの開催について (d)健康づくり米食栄養学術講習会の開催について
(e)平成9年度第2回（通算第6回）栄養学術講座の開催について (f)収入増対策について
(g)在宅栄養士の発掘と登録制及び活動強化について (h)会員増対策と会費納入督促指導について (i)若手会員の連携強化について (j)研究発表会の在り方について (k)第8回（平成9年度）研究発表会の発表演題の募集について (l)その他

② 第2回理事会 9月19日(金) 13:30~17:00 甲府市東公民館 2階会議室
議 事

- (a)インスタントラーメン「健康と栄養」セミナーについて (b)健康づくり米食栄養学術講習会について (c)平成9年度栄養改善大会について (d)第6回（平成9年度第2回）栄養学術講座について (e)収入増対策について (f)会員の連携強化について (g)第8回（平成9年度）研究発表会について (h)高齢者の栄養問題を主題にした講演会について（協賛：大塚製薬株式会社） (i)栄養士のための栄養指導技法学習会について (j)平成10年度「健康づくり提唱のつどい」開催について（ヤクルトグループ協賛） (k)管理栄養士に関する調査について (l)その他

- ③ 第3回理事会 10年1月30日(金) 13:30~17:00 山梨県総合婦人会館 2階会議室
議 事
(a)第8回(平成9年度)研究発表会及び「給食施設の美味しい食事づくり」分科会について (b)平成9年度各種研修会・講演会等の執行について (c)平成10年度「健康づくり提唱のつどい」開催について(開催期日:平成10年9月9日と決定) (d)会員の脱会、会費未納、未加入対策について (e)平成10年度通常総会について (f)その他
- ④ 第4回理事会 10年3月20日(金) 13:30~17:00 甲府市遊亀公民館 2階会議室
議 事
(a)給食施設の栄養管理指導研修会について(平成10年度事業) (b)平成10年度(第14回)通常総会の開催について (c)在宅訪問栄養指導研修会について(平成10年度事業) (d)理事候補・監事候補の推薦について (e)代議員の選出について (f)会長・副会長の選出について (g)介護支援専門員の養成について (h)平成9年度決算の概要について (i)平成10年度予算案の概要について (j)各部の機能強化対策について (k)その他

2. 会員資質向上対策

- ① 平成9年度第1回(通算第5回)栄養学術講座 6月21日(土) 9:00~16:00
会 場 総合婦人会館2階研修室 参加会員数 53名
内 容
(1) 「病態栄養」アレルギーの発生メカニズム 山梨医科大学寄生虫免疫学講座助教授 田坂 捷雄 先生
(2) 治療の理論と食事療法 山梨県立中央病院アレルギー内科医長 松崎 剛 先生
- ② インスタント・ラーメン「健康と栄養」セミナー 9月26日(金) 9:00~15:00
会 場: 山梨学院短期大学 講義室及び調理実習室 参加者数 70名
内 容
(1) 調理実習及び試食: 野口料理学園 園長 野口純子先生
(2) 講 演: 即席食品と栄養教育 食品科学広報センター代表 正木英子先生
(3) 講 演: 食品の栄養表示基準について 北里大学保健衛生専門学院 大江 秀夫先生
- ③ 関東地区「米食栄養学術講習会」10月29日(水) 10:00~15:00
会 場: 山梨県自治会館 2階 研修室 参加者数53名
内 容
(1) 食糧の需給状況の変遷 農林水産省東京食糧事務所 甲府事務所 所長 橋本勝嗣先生
(2) 思春期貧血と食事 健康保険総合川崎中央病院小児科 顧問 赤塚順一先生
(3) 思春期の女性と食行動 東邦大学医学部教授 医学博士 筒井末春先生
- ④ 平成9年度第2回(通算第6回)栄養学術講座 11月8日(土) 9:00~16:00
会 場: 山梨県立文学館研修室 参加者数 111名
内 容
(1) 栄養素の構造と特性 山梨学院短期大学教授 保健学博士 鈴木 道子 先生
(2) 栄養学の最新知識を学ぶ 昭和女子大学大学院教授(元国立健康栄養研究所所長) 医学博士 鈴江緑衣郎 先生
- ⑤ 栄養指導技法研究会 11月22日(土) 14:00~17:00
会 場: 山梨県総合婦人会館 3階視聴覚教室
内 容
(1) 健康学習ビデオを使った栄養指導技法学習
(2) 栄養士活動の在り方
- ⑥ 第7回研究発表会及び「給食施設の美味しい食事づくり」についてグループ討議
3月7日(土) 13:30~17:00
会 場: 山梨県総合婦人会館 2階中研修室及び3階視聴覚教室
内 容
A 研究発表 7題
(1) 江戸末期の「馬琴日記」に現れた食について 教育養成部会 シキシマ醤油(株) 中島 千恵 指導 山梨学院短期大学 依田 萬代

- (2) 食生活改善推進員活動におけるヘルシーレストランの取り組みについて ×3
行政部会 小笠原保健所 萩原久美子
地域活動部会 利波美也子
- (3) 在宅訪問指導の展望
産業部会 ファナック興産(株) 原 崇子
- (4) ファナック社員食堂の現状報告
病院部会 山梨県立中央病院 金子 義憲
- (5) 病院給食における患者の給食料定額負担と課題
病院部会 鈴木泌尿器科 標 正子
- (6) 透析食の理解と実践
ー栄養士として13年間透析患者と関わってー
- (7) 食事介助老人の自立への援助
ーテーブルバイキングを通してー 福祉部会 特別養護老人ホーム 桃源荘 高石 梅子
- B グループ討議(分科会及び全体会)
テーマ 給食施設の美味しい食事づくり4グループに別れて討議し、後で討議内容を全体会で発表
- ⑦ 機関紙「栄養やまなし」を広報部の苦心で年3回(1回は総会特集号)発行し、会員に身近な情報紙として、また会員自身が記事に関心を持ち投稿を訴えたり、行事予定欄やニュース欄を巻頭に掲載し見易く工夫をこらしてみたがあまり効果はなかった。
- ⑧ 日本栄養改善学会等の学会に研究成果を発表した会員に研究発表奨励のため助成金を支給しているが、今年度の学会発表者は次の通りである。なお、第44回栄養改善学会(10月16日・17日:福岡市開催)では同時に開催された全国栄養改善大会において波木井なつ子氏が厚生大臣表彰を受賞された。
- (1) 日本栄養改善学会発表者
a 「低エネルギーフランス料理実践の場より報告 ー第5報 食事療法者への対応 ②透析食フランス料理フルコースの意図ー」 産業部会 ホテル・デュシェール・ブルー 大木 由枝
b 「山梨県における行事食の変化について」
教育養成部会 山梨学院短期大学 根津美智子・依田 萬代
c 「体脂肪における経年変化の検討 ー血液検査・生理検査に対する影響ー」
病院部会 山梨県厚生連健康管理センター 小林 澄・志村 美幸・高野美紀子
d 「熟年夫婦における食生活実態調査」 病院部会 山梨医科大学付属病院 真野喜比兒
- (2) 公衆衛生学会
a 「みそ汁塩分調査結果から見た減塩指導」 行政部会 早川町役場 土橋 理恵・深沢 幸枝

3. 組織の強化

- ① 組織部を中心に機会あるごとに組織の強化策を進めたが、末端会員にまで浸透せず、相変わらず会費未納会員が多い。本会の設立趣旨は、会員である栄養士の資質の向上を進めながら県民に正しい食生活の実践を指導することにより県民の栄養を改善し、健康の維持増進を図り、福祉の向上に寄与することを目的にしている。
従って、会員の資質向上は県民福祉の向上に必要であり、そのための事業展開である。
- ② 昨年度の総会においても、退会、移住等の連絡もなく会費未納のために除名された会員が少なくないが、退会や移住、移籍等は個人の自由であり、それを否定するものではないが、会員となった以上は、決められた規則を守って会費を期日までに納入して欲しいし、退会の自由もあるので、必ず退会、移住、移籍等の連絡を支部や事務局にして欲しいものである。
- ③ 各種研修会、講習会、研究会等へ出席率が低迷しているが、会員からの要望等の意思表示が事務局にまで届いていないことは残念である。
- ④ 栄養士会は、会員のための栄養士会であり、会長や役員のための栄養士会ではないことを真剣に考え、規制緩和が叫ばれている昨今の流れの中では、集団給食の外部委託が我々が考えている以上の早さで緩和される危険もあり、自分達の権利や利益を守っていくのは自分達の結束以外に道がないことも認識す

る必要がある。

- ⑤ 専門職能団体として、また公益団体として、県民のために何が出来るかも問われる時代である。
自分達の専門を生かした道に県民の期待も大きいことを自覚し、栄養士会に結集する力が必要である。

4. 社会活動の展開

- (1) 栄養なんでも相談事業のうち、市町村広報紙等に掲載する生活に密着した「栄養・食生活情報」を7月に5編、9月に10編、2月に8編の合計23編を県内各市町村に送付し、多くの市町村で利用されている。また、市町村広報担当者から指定したテーマで記事を依頼されることもあった。
- (2) 本会事務所内に毎週火曜日、木曜日の10:00～15:00に電話による「栄養なんでも相談」を続けており、相談件数はあまり多くないが利用者からは好評である。電話相談担当者は地域活動部会会員が当番制で交替で相談に応じている。
- (3) 12月13日(土)には、県立文学館のホールに県の食生活推進員や一般県民、本会会員などを集め、「高齢者の栄養と食生活 一老後を楽しめる心と体一」出版健康保険組合・健康管理センター所長の須田都三男先生の講演会を大塚製薬(株)の協力を得て開催し、県民から好評を博した、(参加者数 490名)
- (4) 「いきいき山梨ねりんピック97」が9月13日(土)に甲府市小瀬スポーツ公園を中心に開催され、これに実行委員会の一員として参加協力し理事・監事の役員を中心に一部近郊の会員にも協力願い、パソコンを使つての栄養相談指導、「ことぶき汁」の調理提供を行い参加した県民から好評を得た。
- (5) 「(株)はくばく」の強化精麦普及啓発事業を地域活動部会、支部等が中心となって県下各市町村で活動を展開し、県民に 不足しがちなカルシウム、食物繊維等の摂取促進を勧めた。
- (6) 例年実施している6月の「歯の衛生週間」行事に県内各歯科医師会が主催する「歯の無料歯科相談」事業に後援団体として参加し、「歯の栄養指導」「展示」等を各支部が対応した。
また、県立文学館で11月29日(土)に山梨県歯科医師会が開催した「歯科保健のつどい」を後援し、会長が出席した。
- (7) 山梨県栄養改善大会(主催:山梨県・山梨県栄養士会・山梨県食生活改善推進員連絡協議会)が11月13日(木)県民会館大ホールで開催され、事例発表は理事の高石梅子氏(特別養護老人ホーム桃源荘勤務)が行い、知事表彰は五味保子氏(清山寮勤務)が受賞された。
- (8) 「山梨県健康づくり推進会議」の構成団体として、会長が理事として参加し、理事会や「健康づくり県民大会」等に参加した。
- (9) 「山梨県みんなのスポーツ推進協議会」には、山梨県健康づくり推進会議の代表として理事会等に出席した。10年2月17日の大会では協議会事業の振興発展に寄与したとして功績表彰を会長が受賞。
- (10) その他(a)山梨県食生活改善推進員連絡協議会総会に、会長が来賓として出席し祝辞を述べた。(5月日)(b)四川省友好県民会議の総会に構成団体として会長が出席(5月21日)(c)山梨県在宅酸素療法研究会を後援(7月5日)(d)山梨県職員栄養士会総会に会長が来賓として出席(7月11日)(e)全国保健婦学術研究会が県民文化ホールで開催され、これを後援し会長が来賓として出席(11月6日)(f)その他、国、県、市町村等が開催した健康づくり事業、保健栄養関係事業等に参加協力した。

平成9年度 収入支出計算書

前期繰越金	274,576円
歳入総額	10,414,706円(前期繰越分を含む)
歳出総額	10,027,015円
次期繰越金	387,691円

歳入の部

(△:減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	3,430,000		3,394,000	36,000	
入 会 費		40,000	65,000	△ 25,000	1,000円×65人=65,000円
正 会 員 費		2,990,000	2,899,000	91,000	6,500円×446人=2,899,000円
賛 助 会 員 費		400,000	430,000	△ 30,000	10,000円×43口=430,000円
事 業 費	4,113,000		3,958,530	154,470	
委 託 費		3,063,000	3,221,025	△ 158,025	在宅栄養士活用システム整備事業 1,197,525円 栄養なんでも相談事業 799,260円 健康づくり米食栄養学術講習会 330,270円 インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー 300,000円 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 93,970円 強化精麦普及啓発事業 500,000円
手 数 料		700,000	431,505	268,495	物資幹旋 354,346円、図書幹旋 77,159円
広 告 料		350,000	306,000	44,000	展示手数料 146,000円、広告手数料160,000円
雑 収 入	2,938,000		2,787,600	150,400	
雑 収 入		500,000	423,800	76,200	寄付金 350,000円 雑収入 73,800円 (デキスト代49,500円、日栄会費委託料22,300円 預金利子1,684円他316円)
預 り 金		2,438,000	2,363,800	74,200	(出)日本栄養士会会費 5,300円×446人=2,363,800円
繰 越 金	274,576		274,576	0	
繰 越 金		274,576	274,576	0	
合 計	10,755,576		10,414,706	340,870	

歳出の部

(△:減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	300,000		215,592	84,408	
総 会 費		100,000	132,229	△ 32,229	平成9年度通常総会
役 員 会 費		200,000	83,363	116,637	理事会・監事・支部長・職域部会長会議等

財 産 目 録

平成10年 3月31日現在

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
管 理 費	5,260,000		4,513,438	746,562	
渉 外 費		100,000	39,920	60,080	慶弔・見舞・饗別等
役員行動費		600,000	543,926	56,074	会長・副会長・役員行動費
事務所管理費		960,000	608,012	351,988	事務所使用料420,012円、駐車料188,000円、備品等
役員報酬費		820,000	820,000	0	常任理事報酬（退職積立金を含む）
職 員 費		1,750,000	1,750,000	0	常勤職員給料（退職積立金を含む）
賃 金		80,000	0	80,000	臨時雇上賃金
事 務 所 費		950,000	751,580	198,420	需要費（消耗品、電話、電気、郵便料等）
事 業 費	2,084,000		2,375,680	△ 291,680	
講 習 会 費		1,734,000	1,936,855	△ 202,855	○健康づくり米食栄養学術講習会 ○健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 ○インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー ○在宅栄養士活用システム整備事業 ○栄養なんでも相談事業 ○強化精麦普及啓発事業 研究発表会 栄養学術講座
広 報 費		350,000	438,825	△ 88,825	栄養やまなし発行
補助金及び負担金	584,000		558,505	25,495	
補 助 金		539,000	513,400	25,600	支部均等割 25,000円×8支部 =200,000円 職域部会均等割 15,000円×7部会 =105,000円 支部・職域部会会員割（200円×446人）×2 =178,400円 日本栄養改善学会発表奨励補助金 10,000×3人= 30,000円
負 担 金		45,000	45,105	105	栄養改善大会等（県と共催）負担金 40,000円 山梨県四万省友好県民会議会費 5,105円
雑 費	2,488,000		2,363,800	124,200	
慶 弔 費		50,000	0	50,000	会員慶弔費（慶弔規定による）
預 り 金		2,438,000	2,363,800	74,200	日本栄養士会会費 5,300円×446人 2,358,500円
予 備 費	39,576		0	39,576	
予 備 費		39,576	0	39,576	
合 計	10,755,576	10,755,576	10,027,015	728,561	

以上のとおり相違ありません。

平成10年 3月31日 社団法人 山梨県栄養士会
会 長 藤 卷 一 雄 ㊟
副 会 長 老 沼 喜久江 ㊟
〃 齊 藤 正 治 ㊟
常任理事 中 村 大 家 ㊟
理 事 深 沢 清 子 ㊟

監 査 報 告

定款第12条第4項及び第39条の規定により、平成9年度事業報告、収入支出計算書、財産目録について監査を実施しましたところ、その内容は適正なものと認めます。

平成10年 5月1日 監 事 小 沢 量 子 ㊟
森 田 園 子 ㊟
依 田 明 子 ㊟

資 産 の 部	内 容	金 額
1. 流動資産		
(1) 現金・預金		
① 現 金	現金在高	0
② 当座預金		0
③ 普通預金	山梨中央銀行 甲府駅前支店 No287270	387,691
④ 定期預金	山梨中央銀行 甲府駅前支店 No71210	2,556,922
	計	2,944,613
2. 固定資産		
(1) 什器備品		
① 自転車 1		10,000
② スライド映写機		20,000
③ 電話（0552-22-8593）		20,000
	（0552-22-8140）	20,000
④ リコーワープロ R I P O R T 1600		10,000
⑤ 日立冷凍冷蔵庫		7,000
⑥ 事務用机（両袖×2）		40,000
⑦ 〃（片袖×2）		30,000
⑧ 事務用椅子（コクヨ CR-MP26KS-V×2）		40,000
⑨ 〃（コクヨ CR-25S-V×1）		30,000
⑩ 折たたみ椅子（スチール×5）		25,000
⑪ スチールロッカー（KS-41）		6,000
⑫ 書棚（PLUS-HI-RACK）		5,000
⑬ 〃（MARZEN）		5,000
	計	268,000
資 産 合 計		3,212,613

平成10年度 事業計画（案）

1. 基本方針

国際化時代を迎え、真の国際化のためには大幅な規制緩和なくしては達成できない問題ではあるが、あらゆる部門において規制緩和が進められようとしている現在、栄養士を取り巻く社会環境は更に厳しさが増すことを覚悟する必要がある。

この厳しい社会環境のなかで生き残っていくためには、栄養士が自分達の専門分野で確固とした社会的地位を確立し名実共に専門職能団体であることを実証していかなければならない。

そのためには、栄養士自身が旧態依然とした思考を捨て、果敢に意識改革を断行し時代のニーズに対応できる柔軟な思考を身につける必要がある。

2. 具体的事項

(1) 会員の資質向上

① 今年度は、日本栄養士会の委託事業として、日本臨床栄養研究会、植物油を考える講習会を、第4年次を迎える栄養学講座（第7回：食品学、調理科学・第8回：心理学、給食管理）、第8回研究発表会及び研究会等を開催する。

また、給食施設栄養管理研修会、在宅訪問栄養指導研修会を開催すべく事業部、学術部他関係部との連携を図りながら開催に向けて検討する。

② 栄養学講座が第4年次に入り今年度をもって終了するので、これに代って各都道府県が実施している生涯学習研修会の来年度以降の開催に向けた検討を学術部を中心に進める。

(2) 組織の強化

① 支部組織の充足強化対策を支部長を中心に進め、地域の栄養指導需要の掘り起こしと会員の活動の場の拡大策を図る。

② 支部の在宅訪問栄養指導体制の確立は、時代の要請でもあり、保健所等の行政の指導を得ながら進める。

③ 日本栄養士会においては職域部会組織の統廃合が行われ、今年度から新組織が発足するが、本県では、その影響は少ないと思われるが、新組織による各職域部会の強化が必要である。

④ 支部、職域部会の意思決定のプロセスは、できる限り透明性を高め会員が納得する方法によるよう支部長、職域部会長は努める必要がある。

⑤ 旧来の慣習や弊習を捨て、できる限り多くの会員に諮る機会を設けて意思決定することが組織強化の原点であることに留意すべきである。

⑥ 支部、職域部会を問わず、理事・運営委員は会員に各種の届出を徹底し、無断脱落会員が出ないよう努める必要がある。

(3) 社会活動の強化

① 事務所に毎週火曜日、木曜日に開設する電話による「栄養なんでも相談」の利用者である県民に対し事業の普及啓蒙を進める。

② 市町村広報紙への栄養、食品、調理等の情報提供活動を継続して進める。

③ 各種団体との相互連携を強化し、事業協力を積極的に進める。

④ 今年度より保健所を中心に病態栄養相談事業が進められるが地域活動部会会員の積極的な参加を進める。

⑤ 国、県、市町村等の保健、公衆栄養指導事業に協力する。

平成10年度 収入支出予算書（案）

歳入の部

(△：減)

科 目	予 算 額		前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	3,430,000		3,430,000	0	
入 会 費	40,000		40,000	0	1,000円×40人 40,000円
正 会 員 費	2,990,000		2,990,000	0	6,500円×460人 2,990,000円
賛 助 会 員 費	400,000		400,000	0	10,000円×40口 400,000円
事 業 費	4,493,000		4,413,000	80,000	
研 修 会 等	350,000		300,000	50,000	栄養学術講座・給食施設栄養管理研修会・在宅訪問栄養指導研修会・研究発表会等 テキスト代 延700人×500円 350,000円
委 託 費	3,120,000		3,063,000	57,000	在宅栄養士活用システム整備事業 1,197,000円 栄養なんでも相談事業 823,000円 日本臨床栄養研究会 200,000円 植物油を考える講習会 30,000円 一人暮らし男性高齢者料理教室 100,000円 強化麦普及啓発事業 500,000円
手 数 料	523,000		700,000	△177,000	栄養関係図書斡旋手数料 100,000円 日本栄養士会会費徴収手数料 23,000円
広 告 料	500,000		350,000	150,000	栄養やまなし掲載広告料等 200,000円 展示手数料 15社×20,000円 300,000円
雑 収 入	2,939,000		2,638,000	301,000	
雑 収 入	501,000		200,000	301,000	預金利子・寄付金及び協賛金等
預 り 金	2,438,000		2,438,000	0	日本栄養士会会費（5,300円×460人） 2,438,000円
繰 越 金	387,691		274,576	113,115	
繰 越 金	387,691		274,576	113,115	
合 計	11,249,691		10,755,576	494,115	

歳出の部

(△：減)

科 目	予 算 額		前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	300,000		300,000	0	
総 会 費		100,000	100,000	0	
会 議 費		200,000	200,000	0	理事・監事・部長・支部長・職域部会長会議等

科 目	予 算 額		前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
管 理 費	3,557,000		3,430,000	127,000	
渉 外 費		100,000	100,000	0	
運 営 費		1,550,000	1,550,000	0	役員等交通費 600,000円 事務所費（需要費:電話料・消耗品・通信運搬費等）950,000円
事務所管理費		907,000	960,000	△53,000	事務所家賃（共益費を含む）36,000円×12月 =432,000円 駐車料 2 台分15,000円×12月=180,000円 備品費=100,000円 車借上料=195,000円
役員報酬費		1,000,000	820,000	180,000	常任理事報酬 年間（期末手当を含む）=900,000円 退職積立金=100,000円
事業費	4,232,000		3,914,000	318,000	
研修費等		1,892,000	1,734,000	158,000	在宅栄養士活用システム整備事業 （在宅栄養士研修会を含む） 栄養なんでも相談事業 日本臨床栄養研究会 植物油を考える講習会 一人暮らし男性高齢者料理教室 強化精麦普及啓発事業 栄養学術講座（平成10年度:第7回～8回） 第8回研究発表会及び栄養士研修会 在宅栄養指導研修会 給食施設栄養管理研修会 健康づくり提唱のつとめ（ヤクルトグループ協賛）
広報費		710,000	350,000	360,000	栄養やまなし（年3回）120,000円×3回=360,000円 会員名簿の作成=350,000円
職員費		1,075,000	1,750,000	△675,000	月額65,000円×15月（期末手当を含む）975,000円 退職積立金=100,000円
職員旅費		480,000	0	480,000	月額40,000円×12月（通勤手当を含む）=480,000円
雇用賃金		75,000	80,000	△5,000	臨時雇用賃金5,000円×15日=75,000円
交付金助成金及び負担金	584,000		584,000	0	
補助金		539,000	539,000	0	支部事業補助均等割 25,000円×8支部（歯科 保健事業を含む）=200,000円 職域部会事業補助均等割 15,000円×7部会 = 105,000円 支部・職域部会事業補助会員割（200円×40 人）×2 =184,000円 栄養改善学会等発表奨励金補助 10,000円× 5人 =50,000円
負担金		45,000	45,000	0	栄養改善大会負担金 40,000円 山梨県四川省友好県民会議会費 5,000円
雑費	2,488,000		2,488,000	0	
慶弔費		5,0000	50,000	0	会員慶弔費（慶弔規定による）
預り金		2,438,000	2,438,000	0	日本栄養士会会費 5,300円×460人=2,438,000円
予備費	88,691		39,576	49,115	
予備費		88,691	39,576	49,115	
合計	11,249,691		10,755,576	494,115	

第3号議案

会長・副会長・理事・監事名簿

1. 支部選出理事

支 部 名	理 事 氏 名	支 部 名	理 事 氏 名
甲 府	金子 義憲（県立中央病院）	小 笠 原	河西 一三（高原病院）
日 下 部	高石 梅子（桃源荘）	葦 崎	山本 賀子（地域活動部会）
石 和	橋田 貞江（石和町役場）	吉 田	大石 正子（ふじざくら養護学校）
身 延	竹ノ内恵美子（清珠荘）	大 月	老沼喜久江（大月市立中央病院）

2. 職域部会選出理事

職 域 部 会 名	理 事 氏 名
学 校 健 康 教 育 部 会	定数1名 小林 真美（やまびこ養護学校）
行 政 部 会	定数1名 田草川憲男（葦崎保健所）
研 究 教 育 部 会	定数1名 藤井まさ子（山梨学院短期大学）
集 団 健 康 管 理 部 会	定数1名 大木 由枝（ホテル・デュシェルブルー）
地 域 活 動 部 会	定数2名 古屋百合子・藤巻 一雄
病 院 部 会	定数3名 斎藤 正治（甲州リハビリテーション病院） 石坂 恵子（あけぼの医療福祉センター） 小淵 正子（巨摩共立病院）
福 祉 部 会	定数2名 駒井 裕子（春風寮） 岩間 福巳（明生学園）

3. 会長・副会長（理事の互選により選出）
- 会 長 藤巻一雄
- 副会長 老沼喜久江
- 〃 斎藤正治
4. 監事の選出
- 行政部会 = 清水 正 生（石和保健所）
- 地域活動部会 = 森 田 園 子
- 病院部会 = 深 沢 清 子（社会保険鯉沢病院）

第4号議案

常任理事承認の件

定款施行細則第7条の2項により承認を求める。（現在：中村大家常任理事 平成6年度より常任理事に就任・3期目）

- 参 考 定款施行細則第7条
- （常任理事の承認）
- 第7条 本会に常任理事を置く。常任理事は、会長、副会長を除く理事の互選により選ばれた者に会長が委嘱する。
- 2 常任理事が選任の場合は、定款第13条の規定にかかわらず、任期を8年とし、その任期中は2年ごとに総会で承認を得なければならない。

平成10年度 日本栄養士連盟山梨県支部総会

第1号議案

1. 平成9年度活動報告

地域保健法の公布・施行により従来の都道府県（保健所による）が実施していた一派的な栄養相談指導の業務が市町村に委譲されたが、これに従事する管理栄養士や栄養士の専門職の配置されている市町村は、前年度に比較しても極めて少なく、これを充足させるための活動が全国的規模で展開され、本支部においても県栄養士会と協調しながら未配置市長村長に対して陳情書の提出活動を分会毎に支部と協力しながら実施した。

小笠原分会においては、支部と協力して行政（保健所）の担当者も同道して町村役場に出向き陳情書を提出し早急に配置されるよう要請した。他の分会は郵送による陳情を行った。

更に政治的に栄養政策を進展させるには、国政の場に良き理解者を得ることが必要との観点から梨選挙区の第2区選出の堀内光雄代議士に働き掛け、自由民主党の栄養士議員連盟への入会を要請し8月に実現した。

2. 会 議

a. 平成9年度支部総会

平成9年5月30日(金) 16:00時～17:00時 山梨県総合婦人会館

第1号議案 平成8年度活動報告及び収入支出決算書承認の件

第2号議案 平成9年度活動計画（案）及び収入支出予算（案）承認の件

第3号議案 規約の一部変更承認の件

以上の議案は出席会員の賛成多数で承認される。

b. 関東地区各県栄養士会長と連盟支部長との合同会議

平成9年10月21日(月) 14:00時～22日(火)12:00時

長野県長野市 藤巻栄養士会長・白須連盟支部幹事長 出席

c. 都道府県支部長会議及び自民党栄養士議員連盟との懇談会

平成10年3月19日(木)～20日(金) 日本健康・栄養会館及び自由民主党本部会議室

出席者小沢量子副支部長

d. 幹事会

第1回幹事会 平成9年7月7日(金) 甲府市南公民館

第2回幹事会 平成9年10月23日(木) 栄養士会事務所

第3回幹事会 平成10年3月27日(金) 甲府市遊亀公民館（旧南公民館）

平成9年度 収入支出計算書

前期繰越金 19,011円
歳入総額 341,329円（前期繰越分を含む）
歳出総額 291,907円
次期繰越金 49,442円

歳入の部 (△：減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	202,500		200,700	1,800	
正 会 員 会 費		202,500	200,700	1,800	450円×446人＝200,700円
本部特別助成金	10,000		10,000	0	
本 部 助 成 金		10,000	10,000	0	
雑 収 入	113,000		111,618	1,382	
雑 収 入		500	118	382	預金利子
預 り 金		112,500	111,500	1,000	日本栄養士連盟会費250円×446人＝111,500円
繰 越 金	19,011		19,011	0	
繰 越 金		19,011	19,011	0	
合 計	344,511	344,511	341,329	3,182	

歳出の部 (△：減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	50,000		37,837	12,163	
総 会 費		20,000	27,600	△7,600	平成9年度通常総会
役員会議費		30,000	10,237	19,763	幹事会等
管 理 費	140,000		102,570	37,430	事業費を組替改正
役員旅費		80,000	80,540	△540	
事務所費		60,000	22,030	37,970	需要費（電話・消耗品・通信運搬費等）
活 動 費	40,000		40,000	0	分会活動費均等割5,000円×8分会＝40,000円
分会活動費		40,000	40,000	0	会員割 0円
雑 費	112,500		111,500	1,000	
預 り 金		112,500	111,500	1,000	日本栄養士連盟会費250円×446人＝111,500円
予 備 費	2,011		0	2,011	
予 備 費		2,011	0	2,011	
合 計	344,511	344,511	291,907	52,604	

◎財産目録 山梨中央銀行甲府駅前支店定期預金 573,408 円（口座番号：7 1 2 0 9 号）

以上のとおり相違ありません。

平成10年3月31日 日本栄養士連盟山梨支部
支部長 長 田 正 五 ㊟
副支部長 藤 巻 一 雄 ㊟
〃 小 沢 量 子 ㊟
幹事長 白 須 那 子 ㊟
財政部長 中 村 大 家 ㊟

監 査 報 告

日本栄養士連盟山梨県支部規約第10条の6の規定により、平成9年度活動状況、収入支出計算書、財産目録について監査を実施しましたところ、適正なものと認めます。

平成10年4月10日 監 事 渡 辺 富 雄 ㊟
水 地 民 子 ㊟

平成10年度 活動計画（案）

1. 基本方針

組織の強化は、会員増対策であり、会員数の増加はその組織の発言力の強化に繋がる。従って、山梨県栄養士会と裏表一体となった会員増対策を進めるとともに、政治意識の高揚と結束を強化し、市町村管理栄養士・栄養士の未配置市町村に対する要望活動を引き続き実施する。

栄養士を取り巻く社会環境の厳しさは、今後更に進むものと考えられるが、山梨県栄養士会を始め日本栄養士会及び日本栄養士連盟との連携強化に努め各級選挙活動を積極的に進め、来る参議院選挙においても悔いのない運動を展開と、栄養士関係諸制度や諸懸案事項の促進実現を図る。

2. 目 標

- (1) 栄養士制度の改革促進
- (2) 保健・福祉・医療の各分野の栄養士活動の基盤整備
- (3) 管理栄養士・栄養士の必置拡大
- (4) 管理栄養士・栄養士の職域の拡充・処遇改善の促進
- (5) 行政改革、地方分権への適確な対応
- (6) 各級選挙運動の充実促進

3. 活 動

- (1) 健康づくり・栄養施策の拡充強化への対応
- (2) 少子・高齢社会における栄養施策の拡充強化対策
- (3) 地方公共団体との連携強化
- (4) 管理栄養士等の未配置市町村に対する要望活動の展開
- (5) 国会議員・地方議員との連携の強化
- (6) 国政選・地方選・首長選挙等の推薦候補の応援
- (7) 広報活動の強化

役 員 改 選 の 件

日本栄養士連盟山梨県支部執行体制

。（平成10年度～11年度）

役 職 員	氏 名	分 会 名	現 住 所
支 部 長	長 田 正 五	甲 府	甲府市大津町39 0552-41-2824
副 部 長	藤 卷 一 雄	甲 府	甲府市千塚4-8-26 0552-51-1650
〃	小 沢 量 子	甲 府	甲府市緑が丘1-18-20 0552-52-5058
幹 事 長	白 須 そ の	大 月	上野原町鶴島1650 0554-62-5154
財 政 部 長	中 村 大 家	甲 府	甲府市山宮3000-2 0552-52-5449
幹 事	中 込 文 江	甲 府	甲府市朝日5-2-16 0552-53-6421
〃	森 田 園 子	甲 府	甲府市国母5-16-2 0552-24-4756
〃	大 沢 千 明	甲 府	甲府市湯田1-5-2 0552-33-6892
〃	雨 宮 一 二 三	日 下 部	塩山市千野457 0553-33-4569
〃	斎 藤 正 治	石 和	白根町在家塚1016 0552-83-0601
〃	日 吉 千 恵 子	身 延	身延町身延3839 0556-62-2172
〃	高 野 晃 子	小 笠 原	韮崎市韮崎町上ノ山3592 0551-22-3089
〃	原 崇 子	吉 田	富士吉田市上吉田4508-23 0555-22-8976
〃	中 野 輝 子	大 月	都留市十日市場1519 0554-43-2407
監 事	渡 辺 富 雄	日 下 部	甲府市東光寺1-8-1 0552-35-5129
〃	水 地 民 子	甲 府	甲府市古府中町855 0552-51-0601

平成10年度 収入支出予算書（案）

歳入の部

(△：減)

科 目	予 算 額		前年度 予算額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	207,000			4,500	
正 会 員 費		207,000	202,500	4,500	450円×460人=207,000円
本部特別助成金	10,000		10,000	0	
本 部 助 成 金		10,000	10,000	0	
雑 収 入	115,500		113,000	2,500	
雑 収 入		500	500	0	預金利子
預 り 金		115,000	112,500	2,500	日本栄養士会連盟会費250円×460人=115,000円
繰 越 金	49,422		19,011	30,411	
繰 越 金		49,422	19,011	30,411	
合 計	381,922	381,922	344,511	37,411	345,000

歳出の部

(△：減)

科 目	予 算 額		前年度 予算額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	50,000		50,000	0	
総 会 費		20,000	20,000	0	平成10年度総会費
幹 事 会 議 費	140,000	30,000	30,000	0	幹事会等
管 理 費	140,000		140,000	0	
役 員 旅 費		90,000	80,000	10,000	幹事等旅費
事 務 所 費		50,000	60,000	△10,000	需要費（電話・消耗品・通信運搬費等）
活 動 費	40,000		40,000	0	
分 会 活 動 費		40,000	40,000	0	5,000円×8分会=40,000円
活 動 費 積 立 金	20,000	/	0	20,000	科目新設
活 動 費 積 立 金		20,000	0	20,000	
雑 費	115,000		112,500	2,500	
預 り 金		115,000	112,500	2,500	
予 備 費	16,922		2,011	14,911	
予 備 費		16,922	2,011	14,911	
合 計	381,922	381,922	344,511	37,411	

事務所移転にともなう拠出金名簿（平成9年度）

栄養士会、栄養士連盟役員

長 田 正 五	牛 山 孝 友	根 津 美 智 子	森 田 園 子
中 込 和 代	斉 藤 正 久	屋 本 百 子	老 沼 喜 久
川 崎 陽 子	白 須 正 子	本 沢 賀 子	沢 登 八 千
長 田 松 子	依 田 明 子	沢 西 千 明	草 川 一 雄
渡 辺 富 雄	野 輝 子	大 河 一 三	藤 卷 味 子
中 野 晴 美	川 晴 美	望 中 大 家	五 雨 一 二
外 川 晴 美	連 幹 事 会	高 石 村 子	小 沢 宮 子
長 田 庸 子	林 芳 江		
			計 33名

学校健康教育部会
学校健康教育部会

教育養成部会

増 沢 と し 子	古 山 登 茂 代	丸 山 な か 子	伊 与 田 治 子
鈴 木 道 子	岡 本 裕 子	依 中 川 裕 子	藤 井 早 苗
樋 口 千 鶴	塚 原 順 子		計 12名

行政部会

返 田 雅 子	早 川 史 子	望 月 奈 津 子	山 本 聖 子
外 川 泉 江	查 土 望 萩 遠 三	佐 笠 鎮 小 長 品	千 須 和 明 子
依 田 博 百 合 江	田 藤 月 原 藤 浦	井 目 林 田 川	依 草 中 田 原 林
橋 田 百 合 江	土 望 萩 遠 三	笠 鎮 小 長 品	藤 羽 藤 小
土 橋 理 恵 里	新 田 裕 ま ゆ み		計 29名

地域活動部会

秋 山 智 恵 子	矢 崎 幸 枝	川 村 も と 江	川 窪 眞 由 美
沢 登 京 子	飯 室 静 江	熊 崎 紀 美 子	金 久 保 上 山
杉 本 和 子	中 村 玲 子	日 吉 千 恵 子	井 秋 利 鮎 遊 小
細 萱 幸 子	小 笠 原 二 三 子	近 藤 さ と 子	
小 笠 原 藤 村 内 条	志 横 上		
			計 33名

産業部会

中 村 真 由 美	渡 辺 ひ で み	河 南 洋 子	石 倉 修 子
早 川 敏 子			計 5名

☆ 賛助会員 ☆

(順不同)

平成10年3月31日現在

商 社 名	電話番号	代表者氏名	業 務 内 容
イカリ環境サービス(株)	0552-41-1755	宮 沢 公 広	防鼠害虫駆除
和泉産業株式会社	0552-22-1153	名 取 忠 信	食器、厨房機器
上 田 商 店	0552-66-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
魚 日 出 (株)	0552-35-7648	山 田 日出男	鮮魚卸、小売り
大塚製薬甲府出張所	0552-76-8581	針 生 均	ハインツ、ボカリスエツト
オギノ食糧(株)	0552-22-5181	荻 野 恒 男	給食材料
(有)オズプリンディング	0552-35-6010	小 沢 孝 男	印刷
(株)三和化学研究所甲府営業所	0552-26-9010	太 田 徹	サンエツトA・サンエツトL・サンゲンラクト
キュービー(株)東京支店	0423-65-4111	原 田 純 男	ジャネフ、ヘルスフード
甲 信 食 糧 (株)	0552-73-4561	中 込 豊 秋	総業用食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	0552-73-6844	天 野 袈 裟 富	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
言 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	小 野 清	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	0552-35-1141	武 田 辰 夫	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画 社	0552-73-3811	井 上 寛	厨房企画設計管理
(株) は く ば く	0556-22-8989	長 沢 利 久	麦の総合食品メーカー、強化精麦「骨太家族」
宮 坂 醸 造 (株)	0552-41-8181	宮 坂 伊 兵 衛	味噌
湊 興 (株)	0552-26-3742	飯 島 忠	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	054-622-7200	村 松 善 八	鹽の素、だしの素
森永乳業(株)東京支社甲府営業所	0552-76-3249	増 田 敏 雄	ミルク、乳製品
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	0552-37-8960	上 田 敏 一	健康科学ヤクルト
(株) や ま ひ ろ	0552-76-0714	広 瀬 順 作	総合医薬品卸
雪印乳業(株)甲府営業所	0552-51-7311	木 村 義 男	ミルク、乳製品
北沢産業株式会社甲府支店	0552-26-2800	森 沢 茂 男	厨房設計管理
第一出版株式会社	03-3291-4576	栗 田 元	栄養・調理関係書籍
新日本規格出版(株)	03-3269-2220	河 合 善 次 郎	栄養関係法規、栄養コンピューター
スリーライン株式会社	03-3433-0021	岩 嶋 徳	プラスチック業務用機器
中央法規出版株式会社	03-3379-3861	莊 村 多加志	食品衛生、栄養関係書籍出版
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3861-4331	島 谷 好 夫	メラミン、ポリプロ食器
武田薬品工業(株)フードビタミカンパニー	03-3278-2693	赤 松 順 一 郎	強化米「新玄」
(株)ニチブン名古屋支店	052-204-1505	原 野 克 己	ビジュアル栄養科学事典「サルビオ」
三島食品(株)東京営業所	03-3317-1212	日 名 田 俊 文	ふりかけ、レトルト食品
(株)H+Bサイエンス関東支店	03-5285-0561	小 野 弘 治	特殊栄養品、低エネルギー食品「マービー」
ブリistol・マイヤーズスクイブ(株)	0425-24-6711	外 川 賢 治	アイソカルファイバーズ・アイソカルRTU・プディング
ダイナポット株式会社	048-648-6540	高 本 英 明	ファイバー入りリキッドタイプ「エンリッチ」
(株) マ イ ン ド	03-3498-3024	松 井 忠 一	カルライス、粥のもと、白がゆ
テ ェ ー ー 食 品 株 式 会 社	03-3952-1381	河 内 釣 一	ファイブ・ヘルシーカレー
鍋 林 (株) 甲 府 支 店	0552-37-0371	林 昭 夫	保温食器、液状栄養食品
(株)岩城ハウスウェア	03-5606-7211	赤 坂 敏 夫	軽量強化磁器「イワキホワイトチャイナ」、強化耐熱ガラス食器
(株) み し な 食 品	0552-28-1347	三 科 喜 男	無塩小梅、高級調味漬漬
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	筒 井 和 實	医療用食品の製造、販売
東洋羽毛工業株式会社	0426-75-8811	丹 羽 茂 忠	羽毛フロン
国 際 化 工 株 式 会 社	03-3495-2261	神 末 尚 武	合成樹脂食器全般製品販売
東京サラヤ(株)横浜営業所	045-943-2050	行 田 益 郎	食品衛生材料製造販売、栄養食品の製造販売
(株)カイゲン横浜営業所	045-472-3039	笹 川 博 司	医療用機器、薬品、健康食品製造販売
日清医療食品(株)中部支店	0263-39-0440	田 村 耕 一	給食受託業務、給食材料、濃厚流動食シリーズ
(株)ヤクルト本社医療品部東京営業所	03-5624-6211	中 島 忠 男	医療品営業、カロリアン
(有)サン・アスター	0423-69-4568	高 橋 亀 八 郎	マナイタけずり、包丁とき
ホ リ カ フ ー ズ (株)	0257-94-5334	今 野 勝 吉	流動食、ミキサー食、たんばく製限食

病院部会

石 坂 恵 子	小 林 やす子	相 原 恵 子	波 木 井 なつ子
日 向 純 子	奥 脇 百合香	藤 島 あゆみ	大 沢 さき
小 池 初 美	渡 辺 久美子	久 保 利 恵	今 城 さえ子
飯 野 千代美	植 松 美 香	笹 本 菊 美	古 屋 弘 美子
成 島 孝 枝	川 崎 ひとみ	志 村 きく美	大 竹 己 千子
小 島 佳 子	金 子 義 憲	中 島 みや子	中 込 美 代子
網 野 芙美子	有 泉 正 子	荒 井 貴 子	平 込 万 理生
小笠原孝子	加 藤 加代子	加 藤 直 子	清 島 正 生
杉 村 千代子	風 間 静 江	町 田 章 里	鷹 野 み どり
中 込 文 江	大喜田 麗	中 渡 原 辺	佐 野 恵 里子
樋 貝 友 美	平 塚 美 千代		

計 43名

福祉部会

児 童 部	老 人 部	田 中 恵美子	高 野 晃 子
宮 下 美恵子	金 子 貴 子	大 久 保 裕 美	海 野 か ず み
法 月 孝 美	岸 野 眞 見	河 西 順 子	

計 11名

◎職域部会拠出者一覧

① 栄養士会、栄養士連盟役員	34名	912,000 円
② 学校健康教育部会		10,000 円
③ 教育養成部会	12名	21,000 円
④ 行政部会	29名	29,000 円
⑤ 地域活動部会	33名	42,000 円
⑥ 産業部会	5名	19,000 円
⑦ 病院部会	43名	102,000 円
⑧ 福祉部会	11名	29,000 円
合 計		1,164,000 円

※手違いがありましたら事務所へ申し出てください。

◎事務所移転に係る諸経費及び事務所整備費支出概要 (10.3.20)

廃棄物処理手数料	72,949 円
事務所什器、備品等運搬料	71,000 円
旧事務所、新事務所電気工事料	47,775 円
机、書庫、折りたたみ椅子等	100,775 円
雑貨、諸雑費等	31,305 円
事務所椅子 3台	108,832 円
扇風機 1台 他	21,793 円
電気ストーブ 3台	15,025 円
合 計	469,454 円
拠 出 在 高	694,546 円

◎これからの計画

会員管理、会計処理のためのパソコン1式、コピー機更新

御 案 内

拝啓 ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。非常に厳しい社会情勢がつづいております。皆様のお仕事にも、厳しさが加わっている事と思います。
さて、この度私どもで新企画といたしまして、2年程前より、プラスチックまな板および合成ゴム、木製まな板など…。の移動けずりを（お客様の場所で車内にて修理）を行っております。最近特に、O-157、O-26、サルモネラ菌、ブトー球菌など色々な食中毒が発生し、皆様をこまらせております。厨房内を清潔にすることはもちろんですが、料理作りの原点であるまな板と包丁は常に清潔にしたいものです。私どもといたしましても少しでも皆様のお力になればと、まな板の移動けずりを年中無休で行っております。ぜひ、ご利用、ご検討ください。

※今回より、新企画といたしまして、包丁直しもいたします。下記をご参照ください。

けずれば新品

移動けずり車出動

（お客様の場所で修理）

今までにない現地にいったのけずり修理です。

どんなタイプのプラスチックまな板もご相談に応じ修理致します。お値段もお得な価格です。（両面、片面ともに同じ価格です。）

●出張費は一切ありません●

業務用サイズ

■プラスチックまな板

サイズ(mm)	金 額	枚 数
500×270×20	2,400 円	
600×300×20~30	3,000 円	
720×330×20~30	3,600 円	
840×390×30~50	4,800 円	
900×450×20~50	5,500 円	
1200×450×20~50	7,900 円	

■中華用プラスチックまな板

サイズ(mm)	金 額	枚 数
φ400×100~150	5,500 円	
φ450×100~200	6,400 円	
φ500×100~300	7,900 円	

■家庭用プラスチックまな板

サイズ(mm)	金 額	枚 数
350~450×210~350×150	600 円	

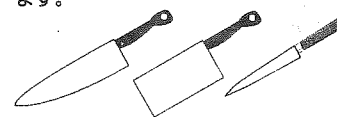
※その他のサイズはお見積りいたします。

※移動車の駐車場の確保、電源（100V）の確保をお願いいたします。
※基本的には現金支払いでお願いします。

TEL. FAX 0423-69-4568
携帯電話 0300-97-4763
高橋 龜 八 郎

包丁直し

最近の包丁はステンレス系のものが、主流をしめる様になりました。衛生上の点からも、いたしかたのないことかもしれません。ステンレスの包丁は、いったん刃先がなくなると、研ぎにくく、一般の方を始め、プロの方がたも大変ご苦労されている様に、お聞きしております。



刃を直し、研ぎます。

直し価格

・牛刃 (20cm~35cm)	1,000 円
・和包丁	1,000 円
・ペティナイフ	800 円

※鉄物も研ぎます。
※出刃包丁およびさし包丁は移動での直しの為、できません。

包丁直しについては、
プラスチックまな板+包丁直し
=でお願いします。

栄養士様各位

平成10年4月吉日

ホリカフーズ株式会社

オクノ事業部

謹啓

益々ご盛栄のことお慶び申し上げます。

平素はオクノ製品のお取扱いにつきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社ではご案内のとおり「企業イメージの刷新」と「新規事業への進出・拡大」につき、従来の社名では企業活動の実態にそぐわなくなったため、平成10年4月1日より社名をホリカフーズ株式会社に變更することになりました。

今後とも新生ホリカフーズ株式会社に対し、従前にも増してご支援賜りますようお願い申し上げます。

これまで弊社では「健康はまず食事から」をモットーに、今日まで「治療用食品」の開発・製造・販売に携わってきました。お陰様で多くの方々のご支持を得て、事業量も着実に伸びております。今後さらにお客様にご満足いただける商品づくりに努め、我国の治療用食品業界の発展に微力ながら貢献していく所存でございます。

今後とも皆様方のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

敬 具

ホリカフーズ株式会社

社名変更キャンペーンのご案内

「新製品アイデア」及び、「私がつくる介護食レシピ」募集

優秀作品には
5万円(30名様)
プレゼント

ホリカフーズ(株)は、業務の多角化に伴い「新製品アイデア」、「私がつくる介護食レシピ」を募集します。

審査員プロフィール

- ★佐藤 一義 先生 県立がんセンター新潟病院 栄養課長
(社) 全国自治体病院協議会栄養部会長
- ★臼井 昭子 先生 東京女子医科大学病院 栄養部副部長
(社) 日本栄養士会 全国病院栄養士協議会副協議会長
- ★渡辺 栄吉 先生 信楽園病院 栄養科主任
(社) 日本栄養士会 全国病院栄養士協議会幹事

応募要項

- キャンペーン期間中、400字詰原稿用紙に「新製品アイデア」、「私がつくる介護食レシピ」を書き、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業（勤務先）、電話番号を明記の上、ご応募下さい。
- ※ただし、お一人様何作品でもご応募いただけます。
- 宛先：〒160-0022東京都新宿区新宿2-4-16栄幸ビル4F「ホリカフーズ社名変更キャンペーン」事務局まで。
- お問い合わせ先：03-3350-6511
- 締切：平成10年5月29日（金）（当日消印有効）
- 選定・発表：ご応募いただいた作品は3名の審査員により厳正な審査を行い優秀な作品を選定いたします。入選の発表はご本人に直接ご連絡させていただきます。※応募作品の著作権・商標権その他一切の権利は、主催者側に帰属します。

ホリカフーズ株式会社

オクノ事業部

<営業本部・新潟営業所>
〒949-7411 新潟県北魚沼郡堀之内町大石59-1
☎02579-4-5536 ☎02579-4-4404

<東京営業所>
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-6-16 野原ビル3F
☎03-3261-4206 ☎03-3261-4205

事務所からのお知らせとご連絡

◎生涯学習振替認定について

平成10年度栄養学術講座（6月18日(木)実施）から振替認定することになります。

今後研修会、講習会等振替認定制度をとっていきたいと考えております。

生涯学習受講票は講習会、研修会等の開講時随時発行いたします。（手数料1,000円）

◎会費自動引落手続について

会費の自動引落の手続をなされていない会員の方は是非手続をお願いします。手続に必要な用紙は事務局、各保健所（担当栄養士）に用意してあります。申し出てください。

会費振込み口座

山梨中央銀行甲府駅前支店 普通預金口座 287296 社団法人 山梨県栄養士会
継続会員会費 12,500円（年額）

編集委員

統括 藤巻一雄 老沼喜久江
中村大家
広報部 田草川憲男 長田庸子
雨宮一二三 外川晴美
事務局 中村玲子

栄養やまなしNo57 平成10年5月1日発行

発行所 社団法人 山梨県栄養士会

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目10-5

TEL・FAX 0552-22-8593

栄養相談電話 0552-22-8140

✧ (社)山梨県栄養士会事務所案内

